

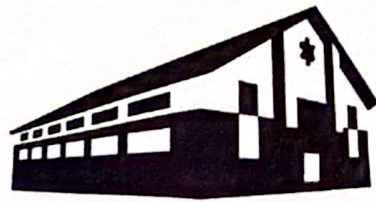
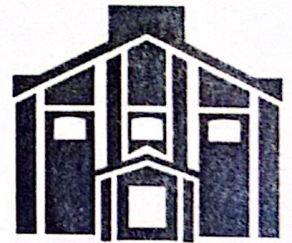
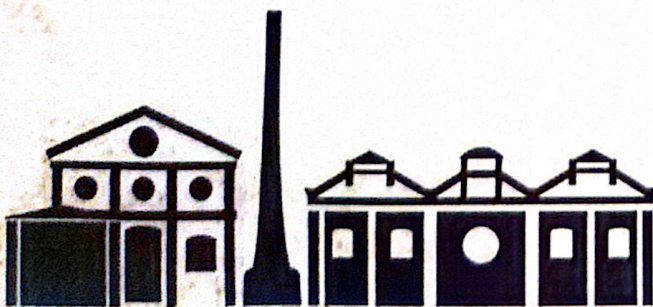
宝物-927-1-を詳しく



タン テツ コウ  
炭鉄港

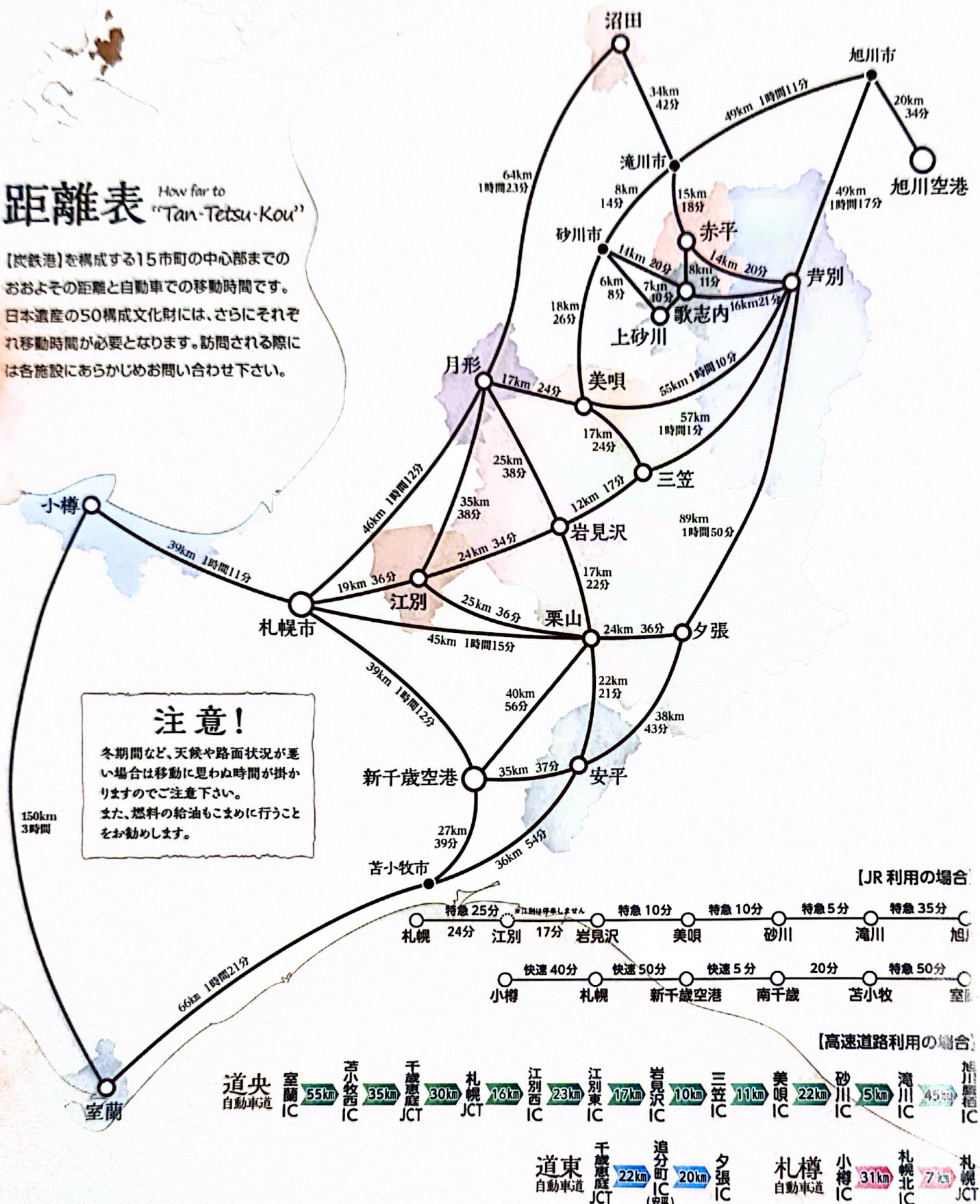
Japanese legacy of Industrial modernization

# ガイドマップ



# 距離表 How far to "Tan-Tetsu-Kou"

【炭鉄港】を構成する15市町の中心部までのおおよその距離と自動車での移動時間です。  
日本遺産の50構成文化財には、さらにそれぞれ移動時間が必要となります。訪問される際には各施設にあらかじめお問い合わせ下さい。



【このパンフレットについてのお問い合わせ】  
 〒068-8558 岩見沢市8条西5丁目 北海道空知総合振興局地域創生部地域政策課  
 TEL 0126-20-0034  
 URL : <http://www.sorachi.pref.hokkaido.lg.jp/>  
 ※紙面に掲載されている情報は、令和7年9月現在のものです。



# 炭鉄港めし

炭鉄港めし特設サイト



「炭鉄港」の地域には、独特な食や文化が伝わっています。  
今、直に味わったり、楽しんだりできるそれらはまさに“生きた歴史”。  
さあ、食べて、歩いて、参加して、「炭鉄港」の物語を語り継ぎましょう！

## がんがん鍋 赤平



赤平で昔から親しまれる家庭料理。豚ホルモン、豆腐、野菜を味噌仕立てのスープで煮込むもので、炭鉱長屋の食文化が伝わる郷土料理として近年市民が注目し、「がんがん鍋」と命名。地元の飲食店でアレンジメニューが味わえます。

## 室蘭やきとり



豚肉とタマネギを炭火で焼き、タレ・洋からして食べる室蘭のご当地グルメ。昭和初期、輪西地区の屋台が発祥で、製鉄所で働く人々に喜ばれました。「やきとり」といながら豚肉を使ったのは、日中戦争以降、食糧増産や軍需品利用などから養豚が奨励されていたからだとか。

## ガタタン 芦別



芦別だけに伝わるスープ料理。あっさり塩味のとりみスープに野菜や魚介などを豊富に入れるのが特徴で、戦後、旧満州からの引き揚げ者が満州の家庭料理をヒントに創作したものです。栄養価が高く、体がすぐ温まると炭鉱労働者に喜ばれました。

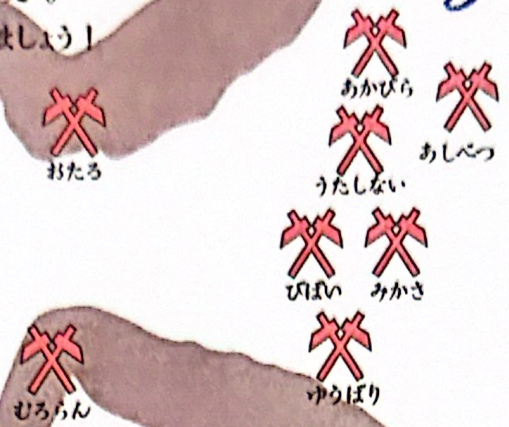
## なんこ料理 三笠(秋田内)



産炭地・秋田内や三笠、夕張で盛んに食べられた、馬の腸を味噌で煮込んだ鍋料理。もとは江戸時代、秋田の炭鉱現場で滋養のために作られ、明治期に渡道した鉱山労働者が郷土料理として広めました。変わった呼び名は十二支の方角「南(馬)」が語源で、馬食がご法度だった頃の隠語だとか。



このほか、労働者が行き交う砂川、栗山では製菓業が発達し、「栗まんじゅう」「きびだんご」などの銘菓人気につながりました。また、栗山の「小林酒造」も炭鉱の歴史と切り離せません。小樽に菓子店が多いのは、早くから港湾商業都市として繁栄した立地環境ゆえ。鉄道の要衝でもあった小樽は、産炭地に魚介を運ぶ行商「ガンガン部隊」の仕入れ先だった「小樽中央市場」など市場が数多く残っています。



## 小樽 ぱんじゅう

写真提供: 桑田屋



パンとまんじゅうが合体したような菓子。道内では小樽を中心に札幌、夕張などに広まり、炭鉱夫や労働者のおやつとして親しまれました。中身は餡やチョコ、クリームなどさまざま、その懐かしい味わいは小樽名物として今も人気です。

夕張には過酷な労働に従事する炭鉱マンたちに愛されてきた「藤の家」というお蕎麦屋さんがありました。人気メニュー豚肉を使ったカレーそば。2009年「藤の家」閉店後、このソウルフードを守りたいと市内の飲食店が結束して「夕張カレーそば協議会」が結成されました。各店舗とも元祖の味を継承しつつも、独自の工夫を重ね、それぞれ違った味わいがあります。

## 夕張カレーそば



## 美唄焼き鳥



炭鉱最盛期、地元の炭鉱夫の栄養源として愛されたソウルフード。塩味で焼き上げたモモ、キンカン(玉子)、レバー、砂肝、ハツ(心臓)など鶏の各部位が一度に味わえるのが魅力です。残しておいた焼き鳥をメのそばに入れるのも美唄風。

小樽市

「第1巻」(1950) (平仮)に「三島由紀夫監督が島が中  
に登場され、反メキシカルな公開にて公開されて  
います。また、映画館での出来事や映画館の敷地に  
民衆たちの足跡が、反政府の作風を暗示する(『三島  
由紀夫監督の島が中』(1992) (平仮))」が(1992) (平仮)4)

江别市

[illegible]

栗山町

[illegible]

室蘭市

1974 (昭和49)年、アメリカ人の建築家ジェームズ・ヘンリー・ホーネー、オランダ人の建築家フランク・ゲーリが、東京の都心部を舞台に、1960年代末、1970年代初頭、都市計画のありかたをめぐって、互に異なる、異なる考え方を示した。その結果、1980 (昭和55)年には、日本建築学会が「都市計画のありかたをめぐって」と題して、この二つの考え方を対比し、その意義を論じた。その結果、1980 (昭和55)年には、日本建築学会が「都市計画のありかたをめぐって」と題して、この二つの考え方を対比し、その意義を論じた。その結果、1980 (昭和55)年には、日本建築学会が「都市計画のありかたをめぐって」と題して、この二つの考え方を対比し、その意義を論じた。

赤平市

[illegible]

月形町

[illegible]

夕張市

1974(昭和49)年、アメリカ・ミネソタ州で「ベトナム戦争」をテーマにした学生運動の模範として出現した。このとき、アメリカの学生運動は21年、第二次世界大戦後にはじめての運動の高まりのピークを記録した。この運動は、ベトナム戦争の終結を要求するだけでなく、人種差別の撤廃、学生生活の改善、社会主義の導入など、さまざまな要求を掲げていた。この運動は、アメリカの学生運動の歴史において重要な役割を果たしている。

三等市

[illegible]

田沼

1973年10月1日（昭和48年）には、日本郵政の郵便事業の国有化（国営化）が実現された。1973年10月1日（昭和48年）には、日本郵政の郵便事業の国有化（国営化）が実現された。1973年10月1日（昭和48年）には、日本郵政の郵便事業の国有化（国営化）が実現された。

岩泉市

[illegible]

主內主

[illegible]

安平町

[illegible]





JAPAN HERITAGE

日本遺産

## 日本遺産とは

「日本遺産 (Japan Heritage)」は地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産 (Japan Heritage)」として文化庁が認定するものです。

ストーリーを語る上で欠かせない魅力溢れる有形や無形の様々な文化財群を、地域が主体となって総合的に整備・活用し、国内だけでなく海外へも戦略的に発信していくことにより、地域の活性化を図ることを目的としています。

【本邦国策を北海道に観よ！～北の産業革命「炭鉄港」～】は令和元年度日本遺産に認定されました。

日本遺産ポータルサイト

<https://japan-heritage.bunka.go.jp/ja/>

## ～タンテツコウ～ 炭鉄港 ストーリー

北海道の近代化は、1872(明治5)年、石造埠頭の建設が開始された小樽からスタートしました。その後、小樽が北海道のゲートウェイとして一段の飛躍を遂げる契機となったのは、1879(明治12)年、北海道初の近代炭鉱である官営幌内炭鉱(現在の三笠市幌内)の開鉱でした。

その石炭を運ぶための幌内鉄道は、北海道初の鉄道として、まずは1880(明治13)年に手宮(小樽)～札幌間が部分開通、1882(明治15)年には幌内まで全通しました。幌内鉄

道は、小樽港への石炭運搬だけではなく、北海道内陸部へ入植する人や収穫した農産物の輸送に活躍するとともに、人や物資の輸送円滑化を通じて道都札幌の発展も支えました。

1889(明治22)年、炭鉱と鉄道は元薩摩藩士の堀基が設立した北海道炭礦鉄道会社(北炭)に払い下げられ、同社によって空知炭鉱(歌志内)と夕張炭鉱(夕張)の開発が進められました。それに伴い、1892(明治25)年に室蘭まで鉄道が延長され、岩見沢が道央圏を東西南北に結ぶ鉄道の交点として、室蘭が石炭積出港として発展する礎となりました。

1906(明治39)年には、鉄道が国有化されました。北炭は、その売却資金をもとに、英国企業2社との合併により室蘭に日本製鉄所を設立。1909(明治42)年には製鉄へと進出し(輪西製鉄場:現在の日本製鉄室蘭製鉄所)、室蘭は鉄の街として不動の地位を確立しました。

一方、鉄道国有化によって北炭の独占輸送体制が崩れ、財閥各社は一斉に空知へ進出し、これを足がかりにして日露戦争で獲得した樺太へと勢力を伸ばしました。このことが小樽港の一層の発展を促して、1914(大正3)年の小樽運河の開削へとつながっていきます。

空知・小樽・室蘭の三都を結ぶ鉄道は、全道の鉄道ネットワークの機軸となり、三都の基幹産業である石炭・港湾・鉄鋼は、北海道の産業化を先導してきたのです。

炭鉄港ポータルサイト

<https://3city.net/>